

10月1日から

後期高齢者医療の窓口負担割合が変わります

後期高齢者の医療費のうち、被保険者が窓口で支払う金額を除いた費用の約4割は現役世代が負担しています。令和4年以降、団塊の世代が75歳以上となり始め、さらなる医療費の増大が見込まれています。

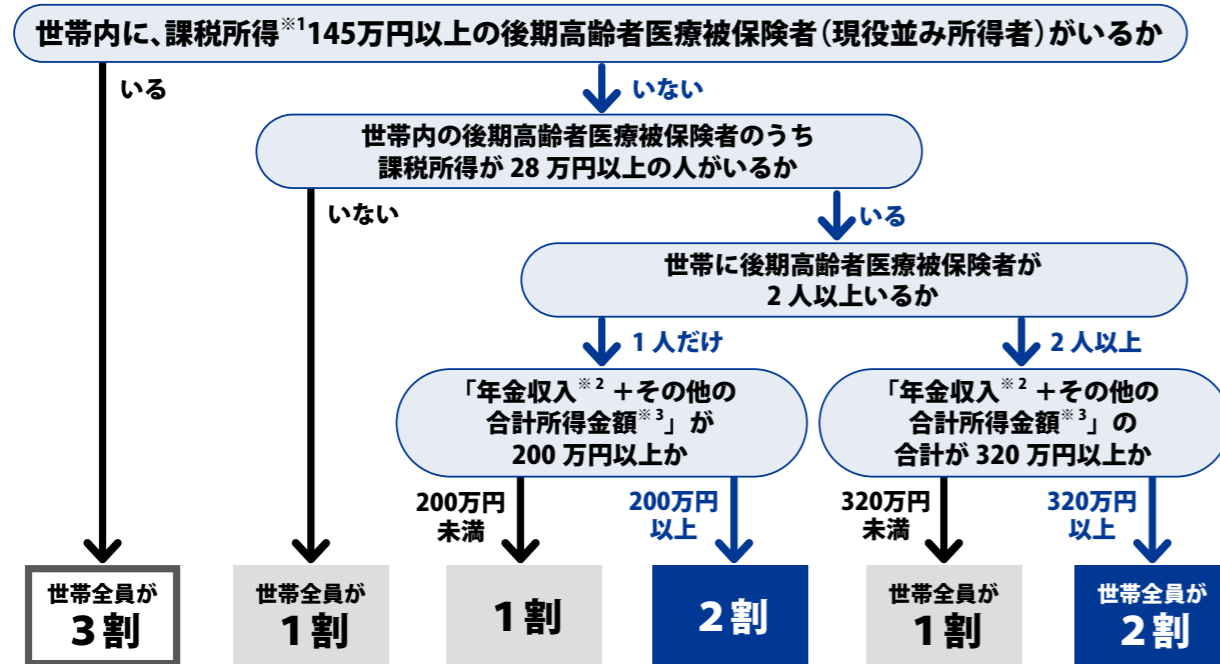
現役世代の負担を抑え国民皆保険を維持していくため、令和4年10月1日から現役並み所得者を除く一般所得者のうち、一定以上の所得がある人の医療費の窓口負担割合が2割に変わります。

☎国保年金課 ☎71・2475 ID 85944
 長野県後期高齢者医療広域連合 ☎026・229・5320

令和4年9月30日まで		令和4年10月1日から	
区分	医療費負担割合	区分	医療費負担割合
現役並み所得者	3割	現役並み所得者	3割
一般所得者等	1割	一定以上所得のある人	2割
		一般所得者等	1割

2割負担となる人の基準

令和3年中の課税所得や収入額をもとに、世帯単位で判定します。詳細は下図をご覧ください。該当者には「2割」と記載された被保険者証が9月ごろ送付されます。



※1 住民税納税通知書の「課税標準」の額
 ※2 遺族年金や障害年金は含みません
 ※3 事業収入や給与収入等から必要経費や給与所得控除等を差し引いた後の金額

2割負担となった人への配慮措置

10月1日からの施行後3年間(令和7年9月30日まで)は、1カ月の外来医療の負担増加額を3,000円までに抑える配慮措置があります。2割分の医療費を一度窓口でお支払いいただきますが、差額は高額療養費として後日支給されます。

制度見直しに関する問い合わせ 後期高齢者窓口負担割合コールセンター ☎0120・002・719

地域の子どもは地域で育てよう

令和4年度安曇野市コミュニティスクール(ACS)

市では、地域の皆さんにさまざまな形で学校にかかわっていただき、学校と地域のつながりを強めることで「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域全体で子どもたちを育てる仕組みづくりに取り組みます。

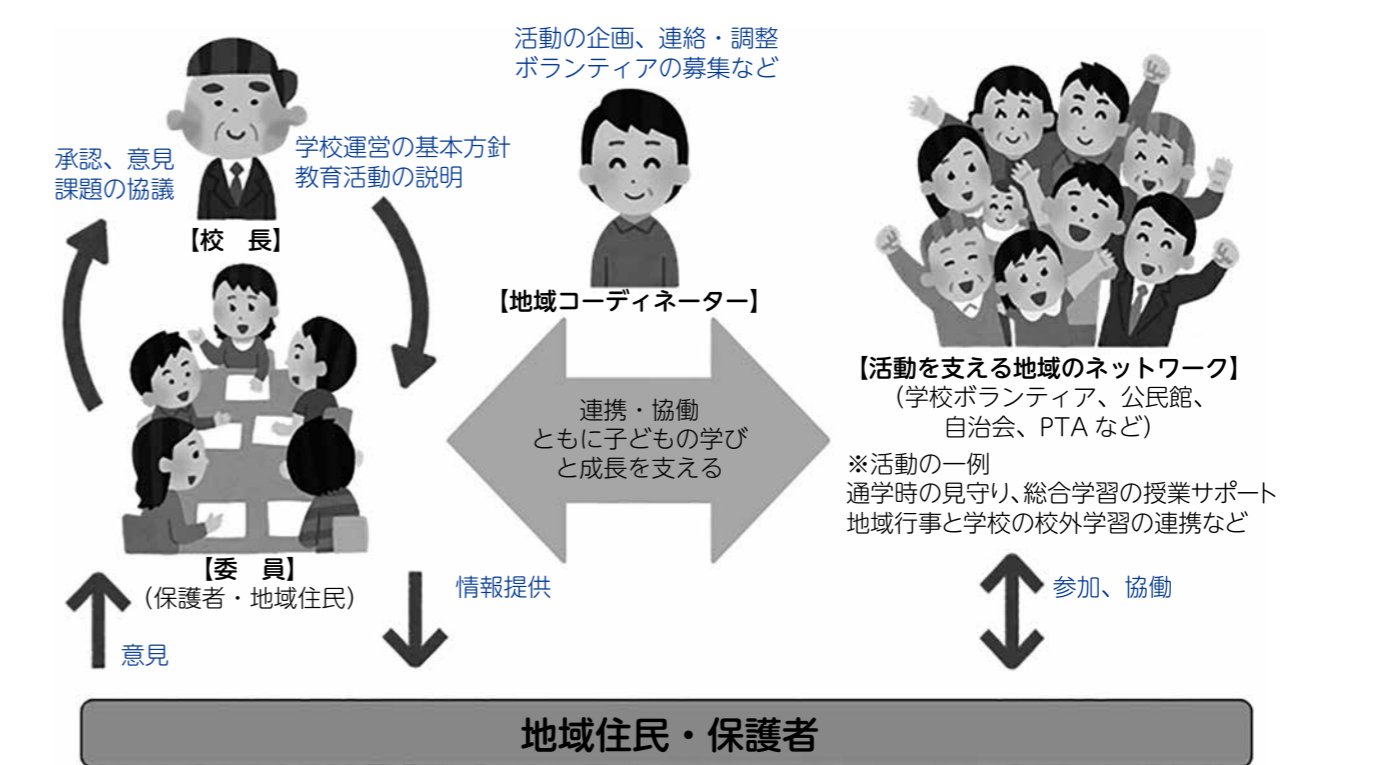
☎学校教育課 ☎71・2460 ID 35445

安曇野市コミュニティスクールの仕組み

学校運営協議会
 地域とともにある学校づくりのため、全小中学校に設置します。保護者や地域住民が学校運営の改善やよりよい教育環境づくりなどについて話し合います。

地域コーディネーター
 各学校において、活動に参加する人材を探したり、活動の企画調整などを行う「学校と地域のつなぎ役」です。

地域学校協働活動
 学校を核とした地域づくりのために、地域と学校がともに行う活動です。子どもの教育機会の充実や地域のつながりづくりなどに繋がります。



学校ボランティアの無償化

「できるひとが、できるときに、できることを」を合言葉に、登下校の見守りや農業体験、学校の清掃、授業の補助など、さまざまな活動に多くの皆さんの参加をいただいています。令和4年度から、ボランティア活動の原則に立ち返り、一部の活動^{*}を除き無償化します。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

^{*}部活動支援、放課後子ども教室(わいわいランド)、放課後学習室など



読み聞かせボランティアの様子(穂高北小学校)